

智頭町「日本1/0村おこし運動」活動発表会

智頭町日本1/0村おこし運動を行っている山郷、山形、那岐、土師、富沢の地区振興協議会が、一年間行ってきた活動を発表しました。

智頭町日本1/0村おこし運動とは？

町の活性化は集落の活性化からという視点にたって「これからもその集落に住もう、どうせ住むなら豊かで楽しい村がいい」を理念とし、住民一人ひとりが自分には何が出来るかを考え、自らが無(ゼロ)から有(イチ)への一歩を踏み出す運動です。



活動発表の様子

山郷地区振興協議会

10年の集大成の取り組みとして初めて実施した夏祭りの開催や、これからの10年を見据えた取り組みとして高齢者等の居場所づくり、地域資源を活用した体験、横瀬渓谷セラピーロードの整備をしました。

山形地区振興協議会

「福祉と共育」をテーマに活動してきました。福祉としてはやまがた森のミニデイが5周年をおかえ、記念食事を開催し、山二地区でも森のミニデイが始まりました。共育としては智頭農林高校と共同の木工加工機養成講座の開催、企業の社員研修による交流などを実施しました。

いざなぎ振興協議会

婚活イベント第6回「本気の婚活！」や那岐駅舎を利用した森のミニデイ、働き方改革の一環としたテレワーク事業の誘致を行い、すき間ワークの実現など幅広い活動をしました。

土師地区振興協議会

タケノコや梅干しの加工をはじめ、セラピー弁当の販売を行いました。他にも平成30年度のグランドオープンに向けた天木セラピーロードの整備を行いました。また、4月に開館した智頭町歴史資料館での枕田遺跡の関連資料の展示などを行いました。

富沢地区振興協議会

箆山トレッキングや夏祭り、豊乗寺もみじまつりなどのイベントを開催。また、キクラゲを栽培、販売しており、自立した運営に向けた活動を行いました。

智頭町日本1/0村おこし運動発足から20年が経過したことを記念して、まちづくりの検討課題として、合同会社RDND（アール・デ・ナイデ）の東輝実さんによる、「自治体・各種団体が持続可能なまちづくり」を演題とした基調講演が行われました。

東さんは徳島県上勝町のゴミを出さないという考え方のゼロ・ウェイスト運動やカフェを自身で運営していく中で、実践している百年会議などのまちづくりについて講演されました。

最後に「一人ひとりが輝けるまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われ、これからのまちづくりについて議論されました。



東さんによる基調講演

日本初 国選定 重要文化的景観 智頭の林業景観

智頭町の重要文化的景観とは？

智頭の林業は、樹齢350年の人工林に象徴されるように江戸時代に始まります。

林業の長い歴史の中で形成された、「山村集落と周辺の人工林」「林業で栄えた宿場町と周辺の山林」さらに「天然スギと広葉樹林が広がる中山間地」は、重要な文化的景観です。

文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃、その価値に気がつきにくいものですが、人々の生活や生業、その地域の風土により形成された欠かせないものであり、地域の誇りとして次の世代へと継承していきたいと考えています。

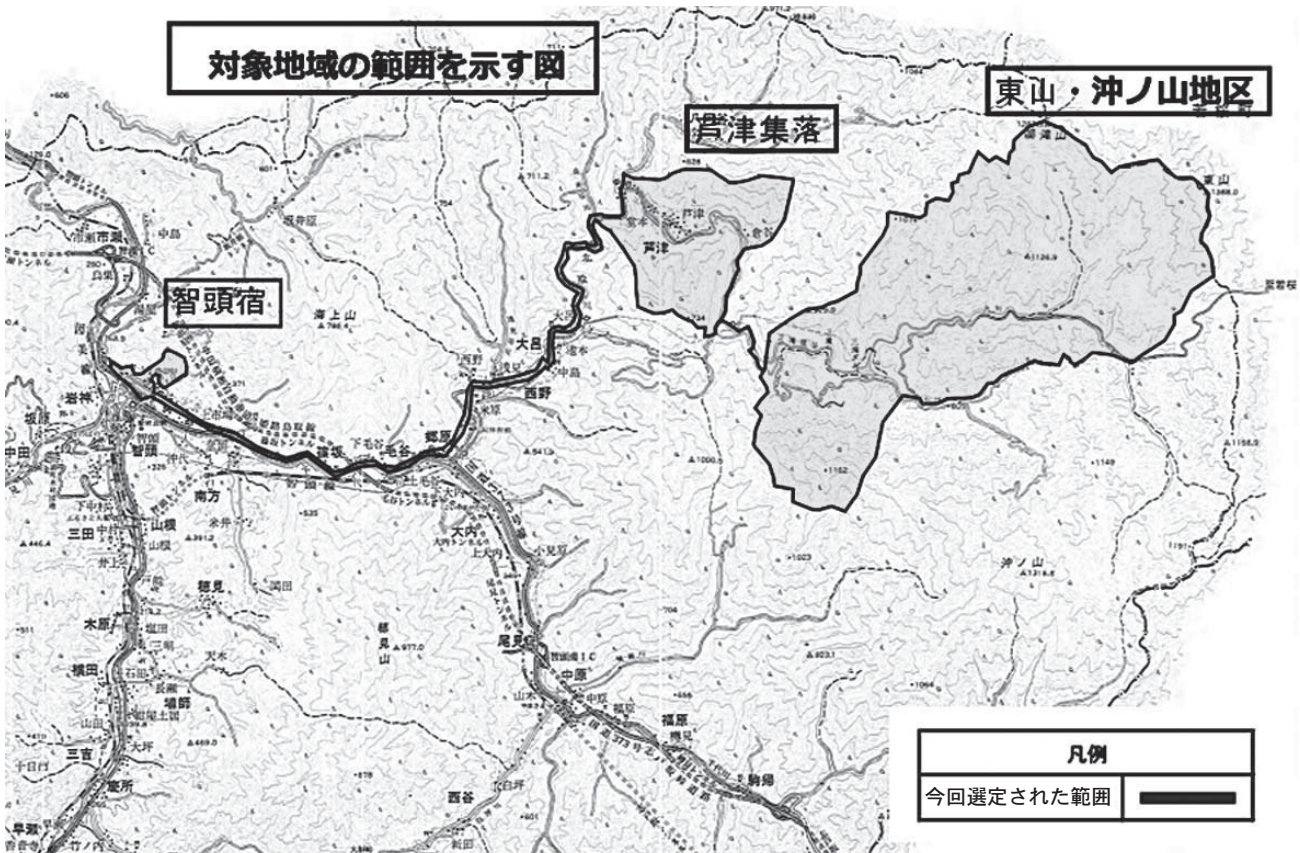
文化的景観は、平成16年の文化財保護法の改正に伴い、有形や無形などの文化財の種



類として、景観の文化的な価値を評価し、地域で守り継ぐために新たに制度化されたものです。

文化的景観の中でも特に重要なものを「重要文化的景観」として国が選定する制度が整えられました。

「重要文化的景観」は、いわば「風景の国宝」ともいえる文化財です。



申込・問合せ先 教育委員会教育課・中央公民館 ☎75-3113・3114